

農山漁村地域整備計画事後評価調査

1 計画の概要

計画の名称	緑豊かな青い森づくり計画（林道事業）
計画策定主体	青森県
対象市町村	深浦町、七戸町、平川市、弘前市、十和田市（5市町）
計画期間	令和2年度～令和6年度（5年間）
計画の目標	本県においては、戦後の拡大造林施策により植栽されたスギが民有林面積の約41%を占めており、積極的な森林整備や木材利用の推進が求められている。 これらを推進するためには、地域の林業生産活動を強化するための路網整備や森林施策の集約化が必要不可欠であり、その取り組みとして、森林施策の基盤となる林道・作業道の新設による路網整備や老朽化により機能が低下した橋梁等の林道施設の機能強化による長寿命化対策などが重要な役割を果たしてくる。 今後は、森林整備と路網整備を一体的に取り組むことにより、森林、林業、木材産業の発展や森林の公益的機能の高度発揮による緑豊かな郷土の森づくりを推進する。
評価指標	指 標 の 内 容
	間伐を中心とした森林整備面積を現状の14haから65haにする 林道橋梁等の機能点検・機能点検診断実施率100%

2 交付対象事業の進捗状況

①対象事業								
事業名	事業型	事業箇所名 (地区名)	事業実施主体	関係市町村	計画期間内の事業内容 (工種及び数量)	工 期	計画期間内の 総事業費 (千円)	進捗状況
森林整備事業	育成林整備事業	黒崎大間越線	青森県	深浦町	林道開設 L=4,247m	R2 ～ R6	406,326	令和11年度まで 事業継続
森林整備事業	育成林整備事業	築俣沢宮崎線	深浦町	深浦町	林道開設 L=1,582m	R2	94,950	事業完了
森林整備事業	林道改良事業	上田唐松線	七戸町	七戸町	林道改良（のり面保全） L=31m	R4	29,120	事業完了
森林整備事業	林道点検診断・ 保全整備事業	中泊沢線	弘前市	弘前市	点検診断 橋梁2基 L=21m	R4	5,000	事業完了
森林整備事業	林道点検診断・ 保全整備事業	古懸線	平川市	平川市	保全整備 橋梁2基 L=16m	R3 ～ R4	15,158	事業完了
森林整備事業	林道点検診断・ 保全整備事業	西の沢線	十和田市	十和田市	点検診断・保全整備 橋梁1基 L=22m	R5	1,105	事業完了
森林整備事業	林道点検診断・ 保全整備事業	第2長根線	十和田市	十和田市	点検診断・保全整備 橋梁1基 L=17m	R5	1,058	事業完了
森林整備事業	林道点検診断・ 保全整備事業	大畑線	十和田市	十和田市	点検診断・保全整備 橋梁2基 L=16m	R6	1,376	事業完了
森林整備事業	林道点検診断・ 保全整備事業	蔭ヶ沢線	十和田市	十和田市	点検診断・保全整備 橋梁1基 L=4m	R6	596	事業完了
森林整備事業	林道点検診断・ 保全整備事業	柏木線	十和田市	十和田市	点検診断・保全整備 橋梁1基 L=5m	R6	596	事業完了
森林整備事業	林道点検診断・ 保全整備事業	色内線	十和田市	十和田市	点検診断・保全整備 橋梁1基 L=10m	R6	722	事業完了
小 計							556,007	
②関連事業								

3 事業効果の発現状況

・路網整備や橋梁等の長寿命化対策を行ったことにより、造林間伐等による荒廃森林の森林整備が進み、水源かん養、土砂流出防止、二酸化炭素吸収等の森林の持つ公益的機能向上が図られた。

4 整備計画期間内における定量的指標の実現状況

成果目標	目標値	実績値	達成状況
間伐を中心とした森林整備の推進	65ha	88.01ha	23.01haの増
林道橋梁等の機能点検診断の推進	100%	100%	達成
・間伐を中心とした森林整備の推進について、定量的指標の実現状況は65haの目標値に対して、実績は23.01ha増の88.01haとなり達成したものと評価できる。 ・林道橋梁等の機能点検診断の推進について、定量的指標の実現状況は100%の目標値に対して、実績は100%となり達成した。			

5 今後の方針

・全国森林計画で求めている路網密度の水準に対して、23.9m/haと低位にあることから、林内路網の整備を積極的に進める。
--

6 第三者の意見

（1）当該整備計画期間内の事業実績では、路網整備によって間伐等の森林整備や林道橋梁等の機能点検診断が進められ、定量的目標の達成に貢献したと認められる。
（2）県内では大型木材加工施設や木質バイオマス発電施設などの稼働により、木材の県内需要が高まっていることから、伐採から造林保育までの取組を支えるため、引き続き、基盤となる路網整備に取り組んで欲しい。
（3）利用期を迎えた森林資源の循環利用に向けて、伐採跡地の着実な更新など適切な森林整備を促進するため、林道は不可欠な施設であることから、次期計画においても必要な予算を確保して欲しい。